

### 佐々木勝則さん講演会

「住み慣れた地域で最後まで暮らしたい」が開催されました。

小雨の降る中、7月3日（日）に五十嵐コミュニティハウスで桜井の里福祉会 常務理事佐々木勝則さんをお迎えして、講演会が開催されました。天候のよくない中でしたが、40名ほどの地域の皆さんが参加されました。

会田代表のこれまでの準備会の経過や社会福祉法人を設立する目的、寄付金の集まり状況等の説明の開会挨拶に続いて、佐々木さんの講演がスタートしました。

自分はどうか、どのように暮らしたいかを考えて準備すること、またそのためにどのような施設が良いのかを考えること。

現在の高齢社会を問題と考えるか、新たな挑戦と考えるか、そしてそれを考えることのできる豊かな社会になった。

施設の入所者の年代の違いによる受けてきた教育の違いがあり、戦前は我慢する世代、戦中から戦後は主張する世代であることや、本人と本人の子どもの2世代にわたって施設で一緒に生活していることなどから、生きてきた時代が違う人たちが一緒に施設で生活していることからみても、高齢者施設という考え方を捨てる必要がある。そして、多機能、多世代、地域の人たちが使える施設にしていくことが求められている。

主な介護者については、妻、夫が増加し、他には嫁、娘、息子であり、夫婦間介護が4割になっていることや介護者の年齢が、60代、70代が増え、80代、90代までと介護者の年齢が高くなっており、20年前は50代であったとのことでした。

また、75歳以上の介護者が3割を超え、夫婦2人

講演会に先立って、午前中に喫茶けやきで、佐々木さんと準備会メンバーとの間で社会福祉法人設立に向けての様々なアドバイス等をいただく時間を作っていただきました。これからの活動の中で参考になるお話を聞くことができました。

世帯のため介護者の代わりがないこと、長期間にわたっていることで先が見えない、介護の孤独化、孤立化、密室化により一人が負担を抱え込み虐待につながりやすくなる、それらをなくしていくためにも地域に開かれた事業所が必要であり、そこに来て話をしてもらったりすることで負担を軽減できる。

最後により施設についての説明があり、①見学がいつでもできるか、②電話対応は、③玄関に入った時の空気感、歓迎されているか、④施設の問題、⑤施設に臭いはないか、⑥面会がいつでもできるか、⑦本人を交えて話を進めているか、⑧必要な情報が開示されているか、⑨職員の退職を事前に伝えているか、⑩外出ができるか、なじみの場所に行けるか、⑪表情が穏やかか、…等、今後の施設づくりや運営について参考になるお話を聞くことができました。

佐々木さんのこれまでのご経験を踏まえて、実際に現場で起きていることを交えながらのわかりやすい内容でした。

最後には何点か質問も受けていただき、丁寧に答えていただきました。

運営する側の理念が大事であり、ぶれないこと、職員と徹底的に話しあって、納得してもらって行動に移していくことが重要であると改めて気づかれました。

お忙しい中、ご講演いただいた佐々木様に感謝申し上げます。また、佐々木様には、準備会の会員にもなっていただきました。改めてお礼を申し上げます。

■八幡



# ある日の [ゆうやけ. こども. けやき食堂]

こども食堂は、月2回（第一木曜.第三火曜）、喫茶けやきで開店しています。

7月7日（木）午後4時、夕食作りのメンバーが集まりはじめます。その後小学生が一人来てテーブルに勉強道具を広げて宿題をはじめます。本来夕食作りスタッフが一人見守りサポートしてくれました。



夕食メニューは、古代米と枝豆を混ぜた七夕お星さまライス、鶏唐揚げ、手作りシャーベット（スイカ）、

午後5時、こども達が次々と来店して、みんな自主的に宿題を始めました。エライなあ。学生さんやスタッフが寄り添いサポートします。

午後6時すぎ、夕食作りのスタッフに感謝してにぎやかに [いただきます]。食後はこども達もお手伝いして片づけます。

午後7時、今日は七夕、星空の下、外での体遊びを新大の篠田先生と早川クリニックの丸山先生の指導の下、ケンケンじゃんけんと大縄飛びで大人もこどもも汗だくで思い切り楽しみました。

午後8時、集会所で円陣をつくり定例の [振り返り] です。いつも初めて参加の方がいますので、みんなで自己紹介して感想を述べます。参加者 こども12人、大人23人合計35人でした。



■会田きよみ



## ◇7月の動き◇

- 1日:BSNラジオ番組に出演（会田きよみ）
- 6日:西ライオンズクラブ総会にてお話しさせていただく
- 10日:新潟県母子寡婦福祉大会に参加させていただき、ライオンズクラブ国際協会の方々とお話しさせていただく。
- 19日:フードバンク呼びかけのこども食堂県内ネットワークづくりに参加

## ゆうやけこどもけやき食

### 開催日とメニューについて

- 8月 4日** カレーピラフ、サラダ、パンプキン（第1木曜）スーフ、他1品副食、デザート
- 8月16日** ※第3火曜ですが、翌週に変更です
- 8月23日** コロッケ、酢の物、コーンスーフ（第4火曜）他1品副食、デザート
- 9月 1日** 焼肉、サラダ、スーフ（第1木曜）他1品副食、デザート
- ハンバーグ、他、デザート**（第3火

**「天上の音楽」**  
日比野さんご夫妻によるコンサート

7月3日、佐々木さんの講演会の後に日比野さんご夫妻によるケータリングコンサート「天上の音楽」が行われました。

季節に合わせて、七夕、浜辺の歌、ミカンの花咲く丘などのほか、日比野さんオリジナルの New Life や、ダニーボーイ、君は愛されるため生まれた、アメイジンググレイス、川の流れるように、最後にふるさとを参加者全員で歌いました。

なかなか本物の音楽に触れる機会の少ないこともあって、日比野さんの演奏や奥様のソプラノに感動した時間を持つことができました。



**8月、9月の会員会議**

開催日 8月 3日(水)、 8月18日(木)  
9月 7日(水)、 9月29日(木)

会場 上新栄町集会所

時間 午後7時から8時30分

※当日は会場費 200 円が必要です

※参加はご自由ですので、ご興味のある方、一緒に活動していただける方は、ぜひ一度ご参加下さい



**会員の皆様からの声**

「混じり合う」場づくりを目指して

高橋 雅子

障がい者の居場所的スペース「地域活動支援センターオーロラ」を20年の歩みの後、今年3月に閉じました。そのための、皆で心をこめて行った1年間の準備期間の中で、17名の利用者さんのほとんどは新しい場所につながる事ができ、色々とまどいながらも、それぞれその人らしくやっていたようです。月に2回、旧オーロラの地域で自分のペースで動く事を選んだ人、高齢の方も含め、何人かで集まり、おしゃべりタイムを持っています。私一人で、小さなアンテナスペースのようなつもりでやっていますが、地域に生きる障がいを持った人達が年をとった時、地域から離れた施設での選択肢しかないのだろうか。相模原の事件を思う度に胸が痛くなります。あんな事が起こらない社会をつくるためのキーワードのひとつとなるのは「混じる」ということだと思います。色々な人達がいてあたりまえ、という場をつくっていく。それは、私のささやかな経験の中でも決してきれいな事で済むようなものではありませんでした。しかし、今、けやき会の活動に加わせていただいて、希望が見えはじめています。色々な人達が入り混じり、つながり合う「拠点づく

り」を目指す。例会で提示される資料には「熱い心と冷たい頭」を感じます。昔、社会科学にはそれが必要なのだと教わりました。「けやき会」が大きな大きな大木となれるよう、夢の実現のため私も小さなスコップとじょうろを持って夫共々お手伝いしていきたいと思います。

けやき会によせて

多賀啓子

何年も前、西区で大停電があった翌朝たまたまグループホームを訪れた時のこと。自家発電装置も作動せず皆が一カ所に集まり一晩過ごされたとのこと。どんなに不安であったかと声かけると一灯のもとに皆が集まり職員さんに守られ「ちっとも怖くなかったよ、楽しかったよ」と意外なほどの笑顔。不便であることと安心であることとは別のことなのだと感じました。自分が誰であるかわからなくても、体が不自由でも、家族がそばにいても、電気がとまっても、皆が寄り添い助け合い思いやる場があれば人は笑顔で過ごせるのだと思いました。ライフラインも、制度も必要条件ですが顔が見え触れることができる距離に思いやり手助けしあう繋がりがあれば笑顔で人生を過ごすことができるのではないかと思います。けやき福祉タウンはそんな繋がりを育んでいける場所にできればと思います。ここに住んでよかったと思えるような。

## 楽しいバザーのご案内

「喫茶けやき」で開催するバザーのお知らせ

**開催日：8月21日(日)**

**午前 10 時～午後 2 時まで**  
**喫茶けやき・上新栄町集会所**  
**日用品・手芸品・喫茶コーナー他**

《お願い》

お家に眠っている不用品等（衣料品以外）ございましたら、お持ちいただければ幸いです。

お持ち込みの期日：8月7日（日）まで  
喫茶けやきへ（10：00～15：00）

## ～編集後記～

いよいよ今年も夏休みがやってきた。学校の長い長期休暇は、重度の障害をもつ桃の居場所に悩む。私も仕事をしているし、家事だって二人ではしているが、やはりたまるものだ。そして、もちろん私の時間も大切だ。自分を大事にしないと家族も大事にできないというわがままなポリシーがあるから。

よって今年の夏も桃は いろんな居場所を探す。居場所といっても、学校の放課後に利用している児童ディサービスセンターへ、夏休みも日中利用させていただき、それぞれの職員さんや、お友達と過ごす。朝、夫が桃を車いすに乗せると、本人は、早く外出したくてそりかえったり、足をバタバタさせ、車で出発すると安堵し、目的の児童ディへ到着すると笑顔になる。もともと私の仕事の都合で利用した児童ディであるが、今では桃にとってもなくてはならない第二、第三のホームになっている。いや、もしかすると桃のパラダイスなのだろう。

とはいっても、過去児童ディを利用した当初は、緊張してなかなか水分をとれなかったり、笑顔のないころもあった。しかし、いつのまにやら安心できる場所となり、水分もたっぷりとれるようになり、今ではどこにいっても笑顔だ。

親ばかりでお恥ずかしいが、夏休みは 私にとっても桃の笑顔がパラダイスになっているのかもしれない。

■土屋容子

金魚を飼い始めました。ムサシで数匹購入したのですが病気が蔓延。懸命に治療して1匹だけ生き残りました。1匹 40 円の金魚に、水槽やら酸素やら治療薬やらで5000 円近く注ぎ込んでしまいました。改めて、命を守るって大変ですね…

■板垣龍介

## ビリーバンバン45周年コンサートのご案内

皆様もよくご存じの「ビリーバンバン」のコンサートが開催されます。ささえあい生協も10周年記念事業として共催しています。ぜひ、懐かしの「白いブランコ」や「さよならをするために」、最近では「また君に恋してる」などを楽しみませんか。

日 時：2016年10月14日（金）

午後1時30分開場、午後2時開演

場 所：新潟市音楽文化会館

料 金：前売り 3,500円 当日4,000円  
※チケットはささえあい生協事務局にありますので、お申込ください。 電話：025-378-6181 八幡まで

## 寄付ご協力のお願い

「夢」が一步一步確実に  
「カタチ」に近づいています

社会福祉法人は、地域の福祉事業を行う非営利法人で、設立時に行政の認可が必要な法人です。設立時の条件である「自己資産を有する」という土地（750坪）については、既に売買契約を終えました。

現在、設計の事前段階として、土地の形状に合わせた建物の検討をしています。これから、会員・地域の皆さんの様々な想いや希望をお聞きしながらまとめていくこととなります。

現在、会員及び会員以外の多くの方から既に約2,800万円の寄付金や寄付金の予約が寄せられています。さらに、ささえあい生協の総代会も終わり、社会福祉法人設立支援の議案が決議され、5,000万円の寄付が決まりました。

今年11月頃には、新潟市の介護事業の公募に応募し、同時に社会福祉法人設立の申請を行う予定です。私たちの願いを実現するためには、まだ2,200万円ほどが必要となります。なにとぞ皆様のさらなるご協力とご支援をお願い申し上げます。

◇呼びかけ人一同

寄付金振込口座

郵便局 口座番号：00580-0-102549

「社会福祉法人けやき会」設立準備会

代表 会田きよみ

第四銀行 小針支店

普通預金：口座番号 1345989

社会福祉法人けやき会設立準備会

代表 会田きよみ

※大光銀行、ろうきんでも受け付けております